

汚染水対策スケジュール (1/2)

資料1-1

分野	括弧	対象設備・作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	9月		10月					11月			12月			1月			2月			3月			4月以降	備考	
				18	25	2	9	16	23	30	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
●原子炉建屋滞留水を2020年末の半分程度に低減(2022~2024年度)	建屋内滞留水	【1~4号機 滞留水移送装置】 (実績) ・1~4号機滞留水移送装置運転  (予定) ・1~4号機滞留水移送装置運転	現場作業	1~4号機滞留水移送装置設置 運転																							(継続運転)	3号機 原子炉建屋滞留水水位低下(TP-2800目標) 実施(2022年6月1日~) 【2022年10月27日時点水位 約TP-2200】※監視パラメータ異常なし ※段階的に水位低下実施
		【α核種除去設備検討】	設計・検討	詳細設計・工事																							(2023年度 工事了予定)	
		【1~4号機 T/B床面スラッジ等の回収方法検討】	設計・検討	設計検討																							(2023年度 設計完了予定)	
		【滞留水一時貯留タンク設計】	設計・検討	詳細設計・工事																							(2024年度 工事了予定)	
		【プロセス主建屋・高温冷却建屋ゼオライト土壌の検討】	設計・検討	詳細設計・工事																							(2024年内 工事了予定)	実規模モックアップ(2022年10月~)
●汚染水発生量を100m3/日以下に抑制(2025年内)	浄化設備	【既設多核種除去設備】 【高性能多核種除去設備】 【増設多核種除去設備】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	現場作業	処理運転(処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止)																							(継続運転)	処理水及びタンクのインサービス状況に応じて適宜運転または処理停止  増設多核種除去設備 前処理設備改造に係る実施計画変更申請(2022年4月28日認可) 高性能多核種除去設備 除去性能確認に係る実施計画変更申請(2022年9月28日認可)
		【サブドレン浄化設備】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	現場作業	処理運転																							(継続運転)	サブドレン汲み上げ、運用開始(2015年9月3日~) 排水開始(2015年9月14日~)  5/6号機サブドレンの復旧・汲み上げ、運用開始(2022年3月~)
		【地下水バイパス設備】 (実績) ・運転 (予定) ・運転	現場作業	運転																							(継続運転)	
		【セシウム吸着装置】 【第二セシウム吸着装置】 【第三セシウム吸着装置】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	現場作業	処理運転																							(継続運転)	2021年1月29日 吸着塔の第二セシウム吸着装置及び第三セシウム吸着装置での再利用の実施計画変更認可(原規規程第2101291号) 使用前検査: 2022年7月21日(第二セシウム吸着装置1号) 2022年7月28日(第二セシウム吸着装置2号) 2022年8月25日(第二セシウム吸着装置3号) 使用前検査予定: 調整中(第三セシウム吸着装置1号、2号、3号) 第三セシウム吸着装置の運転計画見直しにより実施時期再調整中
	【陸側還水壁】 (実績・予定) ・東津島所補助工法は2018年9月に完了 ・維持管理運転2019年2月21日全域展開完了	現場作業	維持管理運転(北側、南側の一部 2017/5/22~、海側の一部 2017/11/13~、海側全域・山側の一部 2018/3/14~、山側全域2019/2/21完了)																							(継続運転)		
	フェーシング(陸側還水壁内エリア)	【陸士体内フェーシング(全6万㎡)】 ・4号機建屋西側	現場作業	4号機建屋西側																								4号機建屋西側: 2023年2月完了予定
	1~2号Rw/B屋上雨水排水対策工事	(予定) ・1号Rw/B屋上雨水の浄化材への排水ルート構築	現場作業																								(2023年3月 工事了予定)	
	1~4号機建屋周辺トレンチ調査	(予定) ・7箇所の調査実施	現場作業																									

汚染水対策スケジュール (2/2)

分野名	括弧	対象設備・作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	9月			10月					11月			12月			1月			2月			3月			4月以降	備考			
				18	25		2	9	16	23	30				上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下					
汚染水対策分野	●タンク関連	H4エリアNo. 5タンクからの漏えい対策	(実績・予定) ・汚染の拡散状況把握	現場作業	モニタリング																									(継続実施)	
		タンク解体	(予定) ・Eエリアフランジタンク解体工事 : 49基解体予定 (2023年度中) ・Eエリアフランジタンク (D1) 内の残水回収 (スラッジ含む) (実績) 解体基数 46基/49基	現場作業	Eエリアフランジタンク解体工事 Eエリアフランジタンク (D1・D2) 内の残水回収																									(2023年3月解体完了予定)* ※: 残水回収中の1基(D1タンク)を除く (継続実施)	2018年9月10日 Eエリアにおける中低濃度タンクの撤去等について (実施計画変更認可) D2タンク内の残水回収: 2022年6月完了
		タンク設置	・G5エリア溶接タンク設置工事 (実績) 設置基数 17基/17基 完成	現場作業	G5エリア溶接タンク設置工事 ▽使用前検査終了証受領																										2021年11月5日 中低濃度タンク (G4 北、G5 エリア) の設置等の実施計画変更認可 (原規規発第2111054号) G5: 2022年9月使用前検査受検予定、9月16日 受検完了、10月7日 終了証受領
	●自然災害対策	津波対策	○日本海溝津波対策 ・日本海溝津波対策防浪堤設置 (実績・予定) 斜面補強構設工事 本体構築工事 ○サブドレン集水設備高台機能移転 (実績・予定) ろ過水タンク西側整備工事実施 地盤改良 (実施中)	現場作業	斜面補強・本体構築工事 ろ過水タンク西側整備 (ろ過水配管リルート工事) 地盤改良工事 (地盤改良) 実施中																									(2024年3月工事完了予定) (2024年度初旬工事完了予定)	2024年3月完了予定 現場着手: 2021年6月21日開始 斜面補強部: 2021年9月14日作業開始 防浪堤本体部: 2022年2月15日作業開始
		豪雨対策	○豪雨対策 ・D排水路新設 (9月30日完成) ・モニタリング関連設備構築中	現場作業	モニタリング関連設備現場工事																									(2022年9月排水路工事完了) (2023年2月モニタリング設備2系統化完了予定)	準備工事 (周界連立坑ヤード整備): 2021年2月25日開始 トンネル工事: 2021年7月29日開始、2021年9月16日初期掘進開始、2021年9月28日本掘進開始 2022年8月30日にD排水路通水完了 2022年9月30日工事完了 2022年12月にゲート遠隔操作開始予定 2022年11月に遠隔監視開始予定

水処理設備の運転状況, 運転計画  
(2022年10月21日～2022年11月17日)

2022年11月4日  
東京電力ホールディングス株式会社

既設多核種除去設備

	21(金)	22(土)	23(日)	24(月)	25(火)	26(水)	27(木)	28(金)	29(土)	30(日)	31(月)	1(火)	2(水)	3(木)	4(金)	5(土)	6(日)	7(月)	8(火)	9(水)	10(木)	11(金)	12(土)	13(日)	14(月)	15(火)	16(水)	17(木)
A	点検停止																											
B	↔		点検停止			↔		計画停止						点検停止														
C	点検停止																									計画停止		

増設多核種除去設備

	21(金)	22(土)	23(日)	24(月)	25(火)	26(水)	27(木)	28(金)	29(土)	30(日)	31(月)	1(火)	2(水)	3(木)	4(金)	5(土)	6(日)	7(月)	8(火)	9(水)	10(木)	11(金)	12(土)	13(日)	14(月)	15(火)	16(水)	17(木)
A	点検停止	↔		点検停止			↔										計画停止		点検停止		↔			計画停止				
B	↔		点検停止			↔		点検停止			↔						点検停止		↔									
C	点検停止																											

高性能多核種除去設備

	21(金)	22(土)	23(日)	24(月)	25(火)	26(水)	27(木)	28(金)	29(土)	30(日)	31(月)	1(火)	2(水)	3(木)	4(金)	5(土)	6(日)	7(月)	8(火)	9(水)	10(木)	11(金)	12(土)	13(日)	14(月)	15(火)	16(水)	17(木)
A	計画停止				点検停止			計画停止														点検停止						

セシウム吸着装置(KURION), 第二セシウム吸着装置(SARRY), 第三セシウム吸着装置(SARRY2)

	21(金)	22(土)	23(日)	24(月)	25(火)	26(水)	27(木)	28(金)	29(土)	30(日)	31(月)	1(火)	2(水)	3(木)	4(金)	5(土)	6(日)	7(月)	8(火)	9(水)	10(木)	11(金)	12(土)	13(日)	14(月)	15(火)	16(水)	17(木)	
SARRY	↔	計画停止			↔						計画停止						↔			計画停止		↔							
SARRY2	点検停止				↔														計画停止									↔	
KURION	計画停止																												

※ 現場状況を踏まえて運転するため、計画を変更する場合があります。

## 福島第一原子力発電所の滞留水の水位について

(2022年10月21日～2022年11月2日)

2022年11月4日

東京電力ホールディングス株式会社

	原子炉建屋水位				タービン建屋水位				廃棄物処理建屋水位				集中廃棄物処理施設水位			
	1号機	2号機	3号機		4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	プロセス 主建屋	高温焼却炉 建屋	サイトバンカ 建屋
			HPCI室	トールラス室												
10月21日	-2061	-2896	-2257	-2223	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-367	-628	1377
10月22日	-2052	-2877	-2250	-2246	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-365	-532	1377
10月23日	-2035	-2887	-2253	-2222	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-363	-318	1378
10月24日	-2041	-2901	-2257	-2246	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-361	-80	1379
10月25日	-2050	-2875	-2257	-2250	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-359	147	1380
10月26日	-2032	-2893	-2253	-2244	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-417	69	1380
10月27日	-2041	-2908	-2257	-2248	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-493	-109	1379
10月28日	-2050	-2891	-2259	-2243	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-566	-309	1379
10月29日	-2047	-2889	-2259	-2248	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-583	-382	1379
10月30日	-2036	-2893	-2260	-2213	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-580	-428	1379
10月31日	-2045	-2900	-2259	-2248	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-578	-453	1380
11月1日	-2054	-2887	-2259	-2209	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-576	-475	1380
11月2日	-2034	-2889	-2259	-2248	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-574	-516	1381
最下階床面高さ	-2666	-4796	-4796	-4796	443	-1752	-1737	-1739	-36	-1736	-1736	-1736	-2736	-2236	2358	

## 備考欄

※ T.P.表記 (単位:mm)

※ 5時時点の水位

※ 1号機タービン建屋の滞留水処理完了(2017年3月)

※ 1号機廃棄物処理建屋の滞留水処理完了(2019年3月)

※ 3号機原子炉建屋水位は、南東三角コーナー水位が停滞している事から水位変動を監視するため一時的に記載(2019年7月5日～)

※ 4号機原子炉建屋の滞留水処理完了(2020年12月)

※ 2～4号機タービン建屋の滞留水処理完了(2020年12月)

※ 2～4号機廃棄物処理建屋の滞留水処理完了(2020年12月)

※ サイトバンカ建屋は過去に滞留水を誤って移送した経緯があり、排水したものの現状も低レベルの汚染が残っていることから、水位を監視している。

《当該建屋内の水は1～4号機建屋及び集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋、高温焼却炉建屋)内の建屋滞留水と切り離されており、放射能濃度も低いことから、建屋滞留水ではない。》

なお、これまでは水位計の測定下限値(約T.P.2700mm)以下まで水位低下処置し監視を行ってきたが、さらに建屋サンプの水位変動を確認するため、

2022年4月19日より水位計を移設し連続監視を行う事とした。

※ 11月3日のデータについては次回報告。(11/3が祝日のため。)

## 各エリア別タンク一覧

## 1～4号機用汚染水貯蔵タンク

タンク基礎、水位、貯蔵量、実容量集約日 2022年10月20日

罐エリア	基数	1基あたり容量(公称) (m <sup>3</sup> )	タンク型	貯蔵水	H水位 (mm)	H容量/基 =実容量/基 (m <sup>3</sup> )	0%以下貯蔵量 (m <sup>3</sup> )	0%以上貯蔵量(m <sup>3</sup> )	実容量 (m <sup>3</sup> )	水位管理				放射能濃度(Bq/cc)							測定時期	概略 使用開始時期
										水位(%) (最大値)	スロッシング 考慮(%)	HANN (%)	HHANN (%)	Cs-134	Cs-137	Co-60	Mn-54	Sb-125	Ru-106	Sr-90		
B	10	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	13674	1297	約20	12882	12975	97.1	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							H30.12	
	27	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	13272	682	約30	18364	18413	97.5	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							H30.10	
B南	7	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	13674	1297	約10	9101	9082	97.9	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							H30.10	
C	26	40	鋼製角型タンク(溶接)	濃縮塩水	—	—	—	—	—	—	—	—	タンク撤去移動(H30.10)							—	H23.6	
	52	40	鋼製角型タンク(溶接)	RO処理水(淡水)	—	—	—	—	—	—	—	—	—							—	H23.8	
D	19	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	12936	1004	約210	8700	19078	56.0	95	88.7	90	1.4E+00	5.4E+00	8.2E-02	<1.9E-02	3.1E+00	<3.5E-01	4.4E+01	H27.3	H26.8
	12	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	RO処理水(淡水)	12936	1004	約140	8133	12049	88.4	95	88.7	90	タンクの分析は未実施							—	R1.11
E	26	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(A)	—	—	—	—	—	—	—	—	タンク解体中							—	H24.8	
	1	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	9880	1054	約100	—	1054	1.0	95	96.3	98.9	2.7E+00	8.6E+00	3.0E+00	1.4E+00	3.7E+01	1.3E+01	3.8E+04	H27.2	—
G1	72	100	鋼製横置きタンク(溶接)※土中埋設	RO処理水(淡水)	—	—	—	—	—	—	—	—	タンク撤去移動(H31.2)							—	H24.8	
	66	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	10796	1322	約160	87191	87244	97.7	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							R1.11	
G1南	8	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	11920	1130	約20	8995	9042	97.1	99	97.6	98.9	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							H30.4	
	15	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	13664	1296	約30	19328	19442	97.0	99	97.6	98.9	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							H30.4	
G3東	24	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	9400	1069	約50	25635	25652	97.7	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							H25.4	
G3西	39	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設) <sup>※1, 2</sup>	9400	1012	約90	37174	39466	92.2	100	92.5	93.8	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							H25.10	
G3北	6	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設) <sup>※2</sup>	9400	1069	約10	6374	6413	97.1	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							R2.3	
G4北	6	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	10794	1322	約10	885	3966	21.8	100	97.7	99	タンクの分析は未実施							R4.7	
G4南	26	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	10796	1322	約60	34347	34369	97.7	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							R2.3	
G6	38	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	13674	1297	約70	48974	49303	97.2	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							H31.4	
G7	10	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	13415	690	約10	6898	6898	97.7	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							H26.12	
H1	63	1220	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	10539	1190	約140	67546	74969	97.7	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							H27.3	
H1東	24	1220	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	10539	1190	約50	28547	28560	97.7	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							H28.4	
H2	44	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	11330	2331	約180	101548	102569	97.7	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							H28.10	
H3	10	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	10796	1322	約20	13205	13219	97.6	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							H30.11	
H4北	35	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	10366	1169	約80	40858	40931	97.6	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							H29.7	
H4南	13	1060	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	13190	1034	約20	13410	13424	97.5	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							H29.12	
	38	1140	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	13010	1112	約70	42046	42249	97.5	100	97.7	98.9	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							H30.4	
H5	32	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	10368	1169	約70	37445	37423	97.9	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							H30.9	
H6(I)	11	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	10368	1169	約20	12873	12864	97.9	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							H30.8	
H6(II)	24	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	10796	1322	約60	31614	31725	97.5	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							H30.12	
H8北	5	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	9477	1069	約10	1369	5344	30.5	100	97.7	99	1.3E-01	5.7E-01	2.7E-01	3.6E-02	6.4E+00	—	2.2E+02	H27.3	H25.4
H8南	8	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 <sup>※2</sup>	9477	1069	約20	7912	8551	90.4	100	97.7	99	タンクの分析は未実施							—	現在未使用中
	3	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	9477	1069	約10	178	3207	16.3	100	97.7	99	<5.1E-02	1.2E-01	2.1E-01	2.0E-02	3.8E+00	2.9E-01	9.1E+01	H27.3	H25.4
J1	98	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設) <sup>※1, 2</sup>	9477	1069	約220	95575	104746	97.7	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							H26.1	
	2	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (高性能検証試験装置)	9477	1069	約0	1045	2138	95.5	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							H26.1	
J2	42	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	12151	2500	約170	103883	104999	97.2	99	97.2	98.5	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							H26.9	
J3	22	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	12101	2490	約90	54439	54773	96.5	99	96.8	98.1	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							H26.10	
J4	30	2900	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	12604	2829	約130	84864	84882	98.0	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							H26.10	
	5	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	11926	1131	約10	5651	5657	97.6	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							H28.2	
J5	35	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	12001	1137	約70	39711	39789	92.1	94	92.2	93.5	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							H26.8	
J6	38	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	10366	1169	約90	44415	44431	97.7	99	97.6	98.9	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							H26.12	
J7	42	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	10366	1169	約100	48954	49108	97.5	99	97.6	98.9	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							H27.9	
J8	9	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	10747	682	約10	6133	6138	97.9	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							H28.4	
J9	12	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	10747	682	約20	8188	8183	97.9	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							H28.11	
K1北	12	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	10366	1169	約30	14047	14031	98.0	99	97.6	98.9	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							H27.1	
K1南	10	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設) <sup>※2</sup>	11926	1131	約20	11297	11314	97.6	100	97.7	99	タンクの分析は未実施							R3.7	
K2	28	1057	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設) <sup>※2</sup>	12780	1032	約40	28669	28888	97.4	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							H28.7	
K3	12	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	13280	683	約10	8187	8195	97.6	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							H28.4	
K4	35	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	12410	972	約50	31517	34024	96.9	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 <sup>※3</sup>							H28.8	
多核種除去設備	4	1100	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	9750	1103	約0	1782	4411	73.1	100	97.5	99	—							H25.3	
高性能多核種除去設備	3	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	12630	1199	約0	421	3598	21.8	100	98.4	99.6	— <sup>※4</sup>							H26.10	
増設多核種除去設備	3	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	12630	1199	約0	801	3598	29.9	100	98.4	99.6	—							H26.9	
D	10	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮廃液	12936	1002	約120	9067	10041	80.1	95	88.7	90	タンクの分析は未実施							H26.8	
H2	3	100	鋼製横置きタンク(溶接)	濃縮廃液	—	—	—	178	281	89.6	—	93	96.5	タンクの分析は未実施							H23.8	

赤字はアウトオブサービス済の基数

下線部は今回の変更箇所

※1 濃縮塩水/Sr処理水等を貯留した実績あり(G3西及びJ1の一部)

※2 Sr処理水等を貯蔵した実績のあるタンクを再利用したものを含む 再利用した基数 G3西:30, G3北:6, H8南:8, J1:8, K1南:10, K2:26

※3 多核種除去設備処理済水(ALPS処理水等)の放射能濃度について、当社「処理水ポータルサイト」に掲載のデータを参照(3ヶ月毎にデータ更新)

処理水ポータルサイトのURLは以下のとおりです。4ページ中段にある「貯蔵タンクエリア毎の放射能濃度を詳しくみる」をクリックすると、分析結果が表示されます。

<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watertreatment/>

※4 多核種除去設備、高性能多核種除去設備、増設多核種除去設備のサンプルタンクは貯留タンクではなく水の入れ替わりがあることから、分析対象外とする。

※実容量には、タンク底部から水位計0%の水量(DS分)を含まない。

## 汚染水等構内溜まり水の状況 (2022.10.20時点)

リスク観点より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m <sup>3</sup> )	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
1-2	2号機R/B	2号機R/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【上屋】 Cs-134: 200~340 Cs-137: 650~1100 全β: 920~1900 Sr-90: 10~20 H-3: ND(<100) (2015.1.16)	
2	5.6号機貯留タンク(フランジタンク)	5.6号機貯留タンク(フランジタンク)	6号機北側	約4,300 (2022.9.15時点)	Cs-134: 2.9E0 Cs-137: 9.7E1 (2022.7.12)	5・6号建屋滞留水・RO濃縮水を貯留
3	5.6号機貯留タンク(溶接タンク)	5.6号機貯留タンク(溶接タンク)	6号機北側	約6,100 (2022.9.15時点)	Cs-134: 7.7E0 Cs-137: 4.3E1 (2016.10.3)	5・6号建屋滞留水・RO濃縮水を貯留
4-2	吸着塔一時保管施設	水処理二次廃棄物(SARRY、KURION、ALPS処理カラム、モバイル式処理装置)	吸着塔一時保管施設(第一施設、第四施設)	1程度(1基あたり)	Cs-137: 2.0E3~1.6E7 Sr-90: 5.3E3~4.3E7 (2017.2~2017.3)	
7	濃縮水タンク(蒸発濃縮装置濃縮水)	蒸発濃縮装置濃縮水用ノッチタンク(スラリー/濃縮水)	タンクエリア(Cエリア)	約65※1 (2019.2.1時点)	【蒸発濃縮装置濃縮水】 Cs-134: 1.7E4 Cs-137: 2.5E4 全β: 4.7E8 (2011.12.20)	蒸発濃縮装置濃縮水を貯留 ※1: 全5タンクの水量を測定して算出
9	5・6号機逆洗弁ピット及び吐弁ピット	6号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	6号機スクリーン近傍	約850	Cs-134: ND Cs-137: 1.8E0 (2022.2.1)	
		6号機逆洗弁ピット	5号タービン建屋海側	約1,500	Cs-134: 3.0E0 Cs-137: 1.9E1 (2016.10.3)	
		6号機逆洗弁ピット	6号タービン建屋海側	約1,500	Cs-134: 1.5E0 Cs-137: 1.1E1 (2016.10.3)	
10	1~4号機T/B屋根	1号機T/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【1号機T/B上屋】 Cs-134: 6.4E1 Cs-137: 2.6E3 (2022.5.26) 全β: 4.4E1 (2020.7.29) ND 2.6E2 (2022.9.21)	
		2号機T/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【2号機T/B上屋】 Cs-134: ND Cs-137: 1.2E2 (2022.5.26) 全β: 8.9E0 (2020.7.29) ND 2.7E2 (2022.9.21)	
11	1号CSTタンク(溶接タンク)	1号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約740 (2016.10.26)	Cs-134: 2.9E+4 Cs-137: 1.9E+5 全β: 2.2E+5 (2016.11.7)	RO処理水を貯留
12	2号CSTタンク(溶接タンク)	2号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1,940 (2022.9.10)	【CST入口水(淡水化装置出口水)】 H-3: 5.3E5 Sr-90: 1.5E2 (2022.8.9) 【2号CSTタンク貯留水】 Cs-134: 1.6E+02 Cs-137: 1.7E+03 (2018.12.14) 全β: 1.5E+03 (2018.12.19)	2020.3.18より1~3号機炉注水源としての運用開始
13	3号CSTタンク(溶接タンク)	3号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1,980 (2022.9.10)	【3号CSTタンク貯留水】 Cs-134: 1.9E+2 Cs-137: 3.5E+3 全β: 6.3E+3 H-3: 7.5E+5 (2020.7.16)	RO処理水を貯留 1~3号機炉注水源
15	地下貯水槽	地下貯水槽No. 1	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 1.3E6 (2018.9.12) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 9.7E3 (2022.8.2) H-3: ND (2019.9.4) 1.5E4 (2022.10.4)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
16	地下貯水槽	地下貯水槽No. 2	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.1E6 (2018.9.12) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 1.2E4 (2022.8.3) H-3: ND (2019.9.4) 1.2E4 (2022.10.5)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)

# 汚染水等構内溜まり水の状況 (2022.10.20時点)

リスク観点より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m <sup>3</sup> )	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
17	地下貯水槽	地下貯水槽No. 3	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.2E6 (2018.9.11)  (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 9.9E3 (2022.8.5) <b>4.1E3</b> (2022.10.18) H-3: ND (2019.9.5)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
18	地下貯水槽	地下貯水槽No. 4	タンクエリア	—	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β: 2.8E4 (2018.9.12)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
20	地下貯水槽	地下貯水槽No. 6	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 7.8E6 (2018.9.11)  (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 4.5E1 (2019.9.5) H-3: ND (2019.9.5)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
21	地下貯水槽	地下貯水槽No. 7	タンクエリア	—	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β: 1.5E2 (2018.9.12)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
22	1~4号建屋接続トレンチ	・1号機コントロールケーブルダクト ・集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト(2号機廃棄物系共通配管ダクト) ・1号機薬品タンク連絡ダクト 等	1~4号機周辺	約1~170 (2022.1)	Cs-134: ND~2.5E2 Cs-137: 1.4E2~8.3E3 全β: 1.4E2~7.7E3 H-3: ND~7.6E2 (2022.1)	量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(1) 「2021年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照
23	2~4号機DG連絡ダクト	・2~4号機DG連絡ダクト	2~4号機山側	約1,600 (2022.1)	Cs-134: ND Cs-137: 9.3E1 全β: 1.1E2 H-3: ND (2022.1.13)	
24-1	1号機海水配管トレンチ	・1号機海水配管トレンチ	1号機タービン建屋海側	約410 (2022.1)	Cs-134: ND Cs-137: 4.1E1 全β: 4.5E1 (2022.1.13)	
26	3号機起動用変圧器ケーブルダクト	・3号機起動用変圧器ケーブルダクト	3号機山側	約830 (2022.1)	Cs-134: 4.8E1 Cs-137: 4.0E2 全β: 4.4E2 H-3: ND (2017.10)	
28	1~4号建屋未接続トレンチ	・2号機変圧器防災用トレンチ ・消火配管トレンチ(3号機東側) ・1号機主変圧器ケーブルダクト ・1号機廃液サージタンク連絡ダクト ・1号機オフガス配管ダクト 等	1~4号機周辺	約6~830 (2022.1)	Cs-134: ND~1.0E1 Cs-137: 1.1E1~2.5E2 全β: 1.9E1~2.5E2 H-3: ND (2022.1)	量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(1) 「2021年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照
29	1~4号機サブドレンビット No.15,16(未復旧ビット)	・サブドレンビットNo.15,16	1~4号機周辺 「未復旧」	約20	【No.16】 Cs-134: 6.8E3 <b>8.9E3</b> Cs-137: 2.6E5 <b>3.7E5</b> 全β: 2.8E5 <b>4.2E5</b> H-3: 3.2E3 <b>1.3E4</b> (2022.7.4) <b>(2022.9.18)</b>	
30	その他1~4号機サブドレン(ディーブウェル含む)(未復旧ビット)	・1号機~4号機サブドレン	1~4号機周辺 「未復旧」	約15/ビット	【No.47.48】 Cs-134: ND~3.9E1 Cs-137: 4.8E1~9.6E1 全β: 7.9E1~2.8E2 H-3: ND (2014.11.10)	
32	1号機放水路 (出口を閉塞済)	・1号機放水路 (出口を閉塞済)	1~4号タービン建屋海側	約5,220 (2022.1)	【放水路上流側立坑】 Cs-134: 3.1E2 <b>1.4E2</b> Cs-137: 1.1E4 <b>4.7E3</b> 全β: 1.4E4 <b>5.6E3</b> H-3: ND (2022.9.19) <b>(2022.10.17)</b>	
33	2号機放水路 (出口を閉塞済)	・2号機放水路 (出口を閉塞済)	2~4号機タービン建屋海側	約5,350 (2022.1)	【放水路上流側立坑】 Cs-134: 2.3E1 <b>2.7E1</b> Cs-137: 9.0E2 <b>9.8E2</b> 全β: 1.5E3 <b>1.5E3</b> H-3: ND (2022.9.19) <b>(2022.10.17)</b>	
34	3号機放水路 (出口を閉塞済)	・3号機放水路 (出口を閉塞済)	3~4号機タービン建屋海側	約3,360 (2022.1)	Cs-134: ND <b>ND</b> Cs-137: 4.3E2 <b>5.1E2</b> 全β: 5.2E2 <b>7.0E2</b> H-3: ND <b>1.1E2</b> (2022.8.10) <b>(2022.9.14)</b>	
35	キャスク保管建屋	・キャスク保管建屋	物揚場 西側	約4,500	Cs-134: 7.2E0 Cs-137: 2.3E1 I-131: ND Co-60: ND 全β放射能: 3.1E1 全γ放射能: (2014.5.23)	
36	5号CSTタンク (溶接タンク)	・5号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1170 (2022.9.14)	Cs-134: ND <b>ND</b> Cs-137: ND <b>ND</b> Co-60: 5.9E1 <b>6.1E1</b> (2022.8.16) <b>(2022.9.13)</b>	プラント保有水を貯留
37	6号CSTタンク (溶接タンク)	・6号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1630 (2022.9.14)	Cs-134: ND <b>ND</b> Cs-137: ND <b>ND</b> Co-60: 1.2E1 <b>ND</b> (2022.8.19) <b>(2022.9.20)</b>	プラント保有水を貯留
38	5/6号他 トレンチ	・5号機海水配管トレンチ ・5号機スチームドレン配管トレンチ ・5号機重油配管トレンチ(東側) ・5号機放射性流体用配管ダクト ・5号機主変圧器ケーブルダクト 等	5~6号機周辺	約1~1,870 (2022.1)	Cs-134: ND~1.7E0 Cs-137: ND~5.1E1 (2022.1)	量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(1) 「2021年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照

汚染水等構内溜まり水の状況 (2022.10.20時点)

リスク観点より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m <sup>3</sup> )	放射性物質濃度[Bq/L]	備考	
40	キャスク保管建屋サブドレン	・キャスク保管建屋サブドレン	物揚場 西側	約15/ピット	Cs-134:1.0E+1 Cs-137:1.4E+1 Co-60:<6.0E-01 全γ放射能:2.4E+1 (2012.1.18)		
41	SPTタンク(1~4号)(A) (溶接タンク)	・SPTタンク(1~4号)(A) (溶接タンク)	SPT建屋	約2,800 (2015.3.25時点)	Cs-134:8.0E+4 Cs-137:1.0E+5 Co-60:6.5E+2 (2013.8.27)	プラント保有水等を貯留	
42	集中ラド周リサブドレン	・集中ラド周リサブドレン	主プロセス建屋等 各建屋周辺	約15/ピット	Cs-134: ND Cs-137: ND~8.9E1 (2022.9.21)	ND ND~4.4E1 (2022.10.19)	
44	純水タンクNo.1	・純水タンク	屋外(建屋エリア)	約850	Cs-134: 2.1 Cs-137: 7.2 全β: 12.2 H-3: ND (2015.5.29)	震災後、坂下ダム補給水を貯留	
45	5/6号機建屋滞留水	・5/6号機建屋滞留水	5~6号機	約6,900 (2022.9.15時点)	【5号機】 Cs-134: ND Cs-137: 1.9E0 全β: ND H-3: ND (2022.8.25)	ND 1.6E0 ND ND (2022.9.21)	
					【6号機】 Cs-134: ND Cs-137: 2.2E0 全β: ND H-3: ND (2022.8.26)	ND 2.6E0 ND ND (2022.9.22)	
46	排気筒ドレンサンブピット	・1/2号排気筒ドレンサンブピット	1~4号機周辺	約0.3 <sup>※</sup> <small>※適宜溜まり水の移送を実施</small>	Cs-134: 1.9E5 Cs-137: 7.3E6 全β: 7.7E6 (2022.7.28)	1.9E5 7.3E6 7.4E6 (2022.8.31)	2019.10.12以降、水位低下傾向が確認された。 (2019.11.27) 2022.3.29の調査で流入箇所を特定したことから、今後流入抑制対策を実施していく。 (2022.4.27)
		・3/4号排気筒ドレンサンブピット	1~4号機周辺	約2	Cs-134: 1.5E1 Cs-137: 5.7E2 全β: 6.5E3 (2022.3.31)		
		・5/6号排気筒ドレンサンブピット	5/6号機周辺	約7.6 (2020.3.12)	Cs-134: ND Cs-137: 9.5E0 全β: ND (2022.3.30)		
		・集中RW排気筒ドレンサンブピット	1~4号機周辺	約10	Cs-134: 1.3E1 Cs-137: 3.0E2 全β: 2.7E2 (2022.2.16)		
47	固体廃棄物貯蔵庫(6~8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫(6~8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫(6~8号棟)	約200	Cs-134: ND Cs-137: 5.3E+1 全β: 4.8E+1 (2017.11.10)		



排水後、R列更新

### 建屋内における残水等の状況について

No.	号機	建屋	対象エリア	区分	区分の判断日※1	運用目標値／基準値(mm)	測定頻度	今回			1回前			2回前			最終排水実績	排水計画	床面(mm)	水位計の有無	水位調整不可期待時期	備考	
								確認日	水位	1回前との水位差(mm)	確認日	水位	2回前との水位差(mm)	確認日	水位	3回前との水位差(mm)							
1	1号機	T/B	電気マンホールNo.1	排水完了エリア	2017/7/5	T.P. 3.023	1回/月	2022/10/3	測定下限値以下	-	2022/9/1	測定下限値以下	-	2022/8/1	測定下限値以下	-	2019/10/28	-	T.P. 1,743	無	完了済	大雨警報発報時に、マンホール上部に水たまりや流入経路は目視にて確認できなかった。	
			電気マンホールNo.2	排水完了エリア	2017/7/5	T.P. 2.293	1回/月	2022/10/3	測定下限値以下	-	2022/9/1	測定下限値以下	-	2022/8/1	測定下限値以下	-	2021/10/26	-	T.P. 1,743	無	完了済	大雨警報発報時に、マンホール上部に水たまりや流入経路は目視にて確認できなかった。	
2			主油タンク室	排水完了エリア	2017/7/5	T.P. 3.463	1回/月	2022/10/3	測定下限値以下	-	2022/9/1	測定下限値以下	-	2022/8/1	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 3,443	無	完了済		
3			復水脱塩装置樹脂貯蔵タンク室	排水完了エリア	2017/7/27	T.P. 2.063	1回/3ヶ月	2022/9/1	測定下限値以下	-	2022/6/13	測定下限値以下	-	2022/6/8	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 2,043	無	完了済		
4			ハウスボイラ室	排水完了エリア	2017/7/11	T.P. 2.250	1回/月	2022/10/3	測定下限値以下	-	2022/9/21	測定下限値以下	-	2022/9/13	T.P. 993	0	2022/9/21	-	T.P. 943	有(露出)	完了済		
5			ディーゼル発電機(B)室	排水完了エリア	2017/7/19	T.P. 1.926	1回/月	2022/10/3	測定下限値以下	-	2022/9/1	測定下限値以下	-	2022/8/1	測定下限値以下	-	2021/9/15	-	T.P. 543	有(露出)	完了済		
6			床ドレンサンプ	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	1回/日	2022/10/3	T.P. -785	-	2022/9/1	T.P. -762	-	2022/8/1	T.P. -858	-	-	-		有	完了済	
7			機器ドレンサンプ	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	1回/日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		無	完了済	
8			復水ポンプ配管トレンチ	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	1回/日	2022/10/3	T.P. 9	-	2022/9/1	T.P. 34	-	2022/8/1	T.P. -36	-	-	-	T.P. -857	有	完了済	水位は仮設水位計にて計測
9			復水ポンプピット(A)	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	1回/日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		無	完了済	
10	復水ポンプピット(B)	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	1回/日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		無	完了済			
11	復水ポンプピット(C)	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	1回/日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		無	完了済			
12	給水加熱器ドレンポンプピット(A)	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	1回/日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		無	完了済			
13	給水加熱器ドレンポンプピット(B)	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	-	1回/日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		無	完了済			
14	Rw/B	LDT室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/10/3	測定下限値以下	-	2022/9/1	測定下限値以下	-	2022/8/1	測定下限値以下	-	-	-	T.P. -36	有(露出)	完了済			
15		FSST室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/10/14	測定下限値以下	-110	2022/10/3	T.P. 84	0	2022/9/1	T.P. 84	-	2022/10/14	-	T.P. -36	有(露出)	完了済			
16		OGST室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/10/3	測定下限値以下	-	2022/9/1	測定下限値以下	-	2022/8/1	測定下限値以下	-	-	-	T.P. -36	有(露出)	完了済			
17		床ドレンサンプ(A)	床面以下に貯留する残水	2019/4/22	-	-	1回/日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		無	完了済		
18		床ドレンサンプ(B)	床面以下に貯留する残水	2019/4/22	-	-	1回/日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		無	完了済		
19		高電導度廃液サンプ	床面以下に貯留する残水	2019/4/22	-	-	1回/日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		無	完了済		
20	2号機	T/B	低圧復水ポンプエリア	建屋貯留水	-	-	-	2022/10/4	測定困難※4	-	2022/9/2	測定困難※4	-	2022/8/2	測定困難※4	-	-	-	T.P. -1,752	無	-	復水器エリアと連通性有※2	
21			C/B(バッテリー室)	排水完了エリア	2018/1/31	T.P. 1,599	1回/月	2022/10/4	測定下限値以下	-	2022/9/2	測定下限値以下	-	2022/8/2	測定下限値以下	-	2018/1/26	-	T.P. 448	無	完了済		
22			C/B(電気品室)	排水完了エリア	2018/1/18	T.P. 1,644	1回/月	2022/10/4	測定下限値以下	-	2022/9/2	測定下限値以下	-	2022/8/2	測定下限値以下	-	2018/1/15	-	T.P. 448	有(露出)	完了済		
23			パッチ油タンク室	排水完了エリア	2018/3/26	T.P. 1,668	1回/月	2022/10/12	測定下限値以下	-90	2022/10/4	T.P. 538	10	2022/9/2	T.P. 528	0	2022/10/12	-	T.P. 448	有(露出)	完了済		
24			スウィッチギア室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/10/4	測定下限値以下	-	2022/9/2	測定下限値以下	-	2022/8/2	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 448	有(露出)	完了済		
25			南西エリア	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/10/4	測定下限値以下	-	2022/9/2	測定下限値以下	-	2022/8/2	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 448	有(露出)	完了済		
26			CD室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/10/4	測定下限値以下	-	2022/9/2	測定下限値以下	-	2022/8/2	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 448	有(露出)	完了済		
27			消火ポンプ室(水位計設置箇所)	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/10/19	測定下限値以下	-100	2022/10/12	T.P. 547	60	2022/10/4	T.P. 487	30	2022/10/19	-	T.P. 448	有(露出)	完了済		
28	消火ポンプ室(ポンプ設置箇所)	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/10/4	測定下限値以下	-	2022/9/2	測定下限値以下	-	2022/8/2	測定下限値以下	-	2020/6/29	-	T.P. 448	無	完了済				
29	ディーゼル発電機(A)室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/10/4	測定下限値以下	-	2022/9/2	測定下限値以下	-	2022/8/2	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 448	有(露出)	完了済				
30	電気油圧式制御装置室 ※5	建屋貯留水	-	-	-	2018/1/31	測定下限値以下	-	2018/1/31	測定下限値以下	-	-	-	-	-	-	T.P. 448	無	-	復水器エリアと連通性有※2			
31	T/B地下階北東廊下 ※5	建屋貯留水	-	-	-	2017/12/25	測定下限値以下	-	2017/12/25	測定下限値以下	-	-	-	-	-	-	T.P. 463	無	-	復水器エリアと連通性有※2			
32	南西エリア	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/10/5	測定下限値以下	-	2022/9/5	測定下限値以下	-	2022/8/3	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 463	有(露出)	完了済				
33	CD室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/10/5	測定下限値以下	-	2022/9/5	測定下限値以下	-	2022/8/3	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 463	有(露出)	完了済				
34	ディーゼル発電機(A)室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/10/5	測定下限値以下	-	2022/9/5	測定下限値以下	-	2022/8/3	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 463	有(露出)	完了済				
35	ディーゼル発電機(B)室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/10/5	測定下限値以下	-	2022/9/5	測定下限値以下	-	2022/8/3	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 463	有(露出)	完了済				
36	電気油圧式制御装置室	排水完了エリア	2018/2/2	T.P. 1,725	1回/月	2022/10/5	測定下限値以下	-	2022/9/5	測定下限値以下	-	2022/8/3	測定下限値以下	-	2019/6/14	-	T.P. 463	無	完了済				
37	消火ポンプ室	排水完了エリア	2018/3/20	T.P. 1,644	1回/月	2022/10/5	測定下限値以下	-	2022/9/5	測定下限値以下	-	2022/8/29	測定下限値以下	-	2022/8/29	-	T.P. 463	有(露出)	完了済				
38	パッチ油タンク室	排水完了エリア	2018/3/20	T.P. 1,665	1回/月	2022/10/5	測定下限値以下	-	2022/9/5	測定下限値以下	-	2022/8/3	測定下限値以下	-	2020/10/6	-	T.P. 463	有(露出)	完了済				
39	C/Bエリア	建屋貯留水	-	-	-	2022/10/5	測定下限値以下※6	-	2022/9/5	測定下限値以下※6	-	2022/8/3	測定下限値以下※6	-	2020/10/2	-	T.P. -1,737	有	完了済	継続した水位上昇を確認。継続して排水する措置を実施済み。			
40	4号機	T/B	C/B(バッテリー室)	排水完了エリア	2018/2/15	T.P. 1,683	1回/月	2022/10/6	測定下限値以下	-	2022/9/6	測定下限値以下	-	2022/8/4	測定下限値以下	-	2018/1/24	-	T.P. 461	有(露出)	完了済		
41			C/B(電気品室)	排水完了エリア	2018/2/15	T.P. 1,636	1回/月	2022/10/6	測定下限値以下	-	2022/9/6	測定下限値以下	-	2022/8/4	測定下限値以下	-	2018/10/23	-	T.P. 461	有(露出)	完了済		
42			パッチ油タンク室	排水完了エリア	2018/3/23	T.P. 1,622	1回/月	2022/10/6	測定下限値以下	-	2022/9/6	測定下限値以下	-	2022/8/4	測定下限値以下	-	2020/10/14	-	T.P. 461	有(露出)	完了済		
43			M/Cエリア	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/10/6	測定下限値以下	-	2022/9/6	測定下限値以下	-	2022/8/4	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 461	有(露出)	完了済		
44			南西エリア	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/10/6	測定下限値以下	-	2022/9/6	測定下限値以下	-	2022/8/4	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 461	有(露出)	完了済		
45	ディーゼル発電機(A)室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2022/10/6	測定下限値以下	-	2022/9/6	測定下限値以下	-	2022/8/4	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 461	有(露出)	完了済				
46	電気油圧式制御装置室 ※5	建屋貯留水	-	-	-	2018/1/12	測定下限値以下	-	2018/1/12	測定下限値以下	-	-	-	-	-	-	T.P. 461	無	-	復水器エリアと連通性有※2			

※1:現状の滞留水水位より床面が低く、将来的な水位低下によって孤立すると想定されるエリアについては、運転上の制限(建屋滞留水<サブドレン水位)を満足する時期で調査を行い、区分けするように計画する。

※2:2018/3/8,2018/4/24 面談資料参照。

※3:1号機タービン建屋は、現在、床ドレンサンプ内で水位管理を行っているため、T.P.443として管理(2018/4/6面談資料参照)

※4:連通のある復水器エリアは、連通高さ(T.P.-1527mm)以下にある床ドレンサンプで水位を制御しているため、連通高さを超えてから水位を記載する。

※5:床面露出。中間地下階のため、再冠水の可能性は低い。

※6:床面露出。床面(T.P.-1737mm)以下にあるスチームドレンサンプで水位を制御しているため、床面高さを超えてから水位を記載する。

2022/10/19 0:00 時点の各建屋水位

	1号機			2号機			3号機			4号機		
	R/B	Rw/B	T/B※6	R/B	Rw/B	T/B	R/B	Rw/B	T/B	R/B	Rw/B	T/B
滞留水の水位	T.P. -2,039	除去完了	除去完了	T.P. -2,825	除去完了	除去完了	T.P. -2,204	除去完了	除去完了	除去完了	除去完了	除去完了
周辺サブドレン設定値	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650

※6:1号機T/Bの最下階の床レベルはT.P.443mm

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

各建屋地下エリアの滞留水貯留状況

最終更新：2020/2/8  
東京電力ホールディングス株式会社

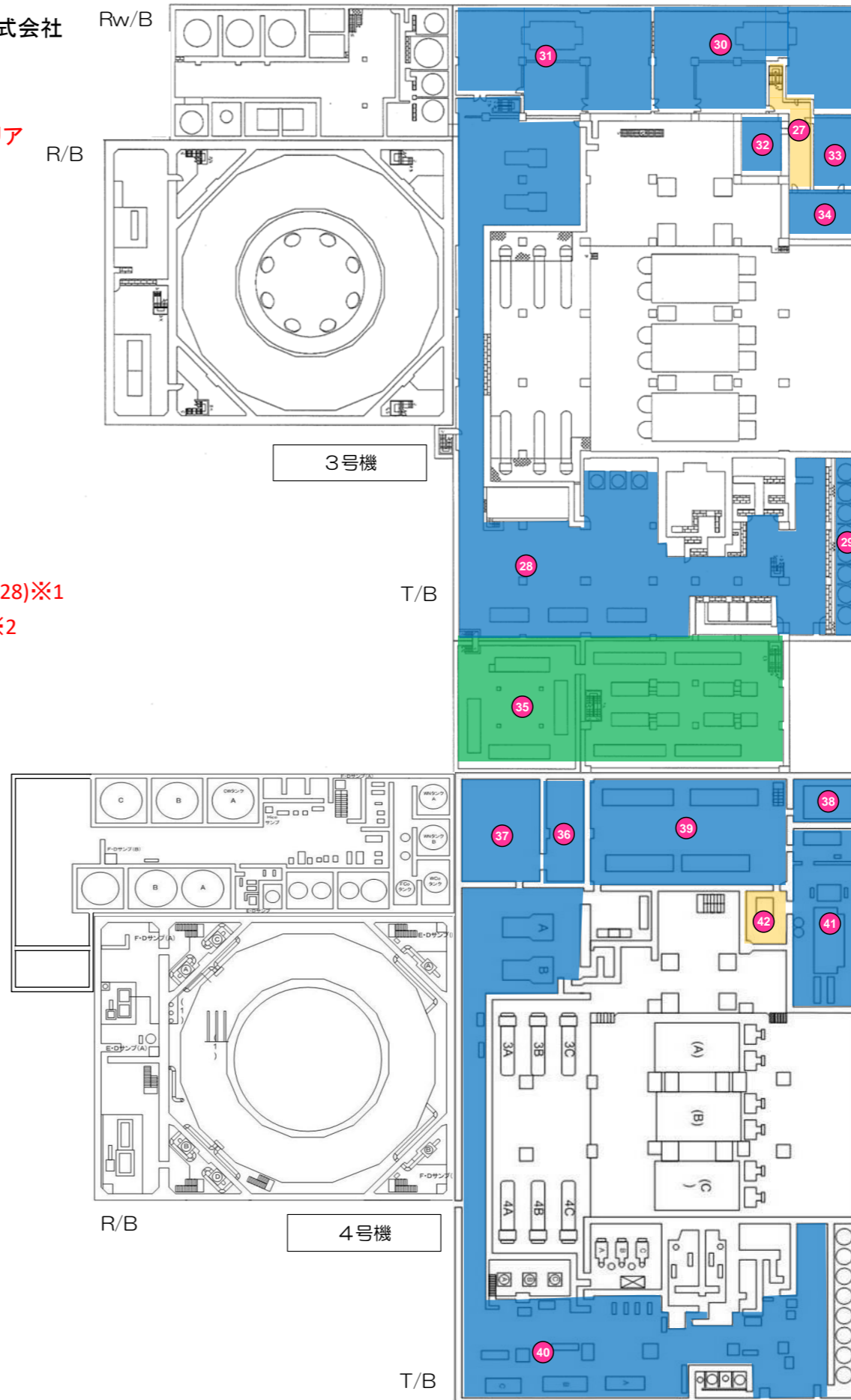
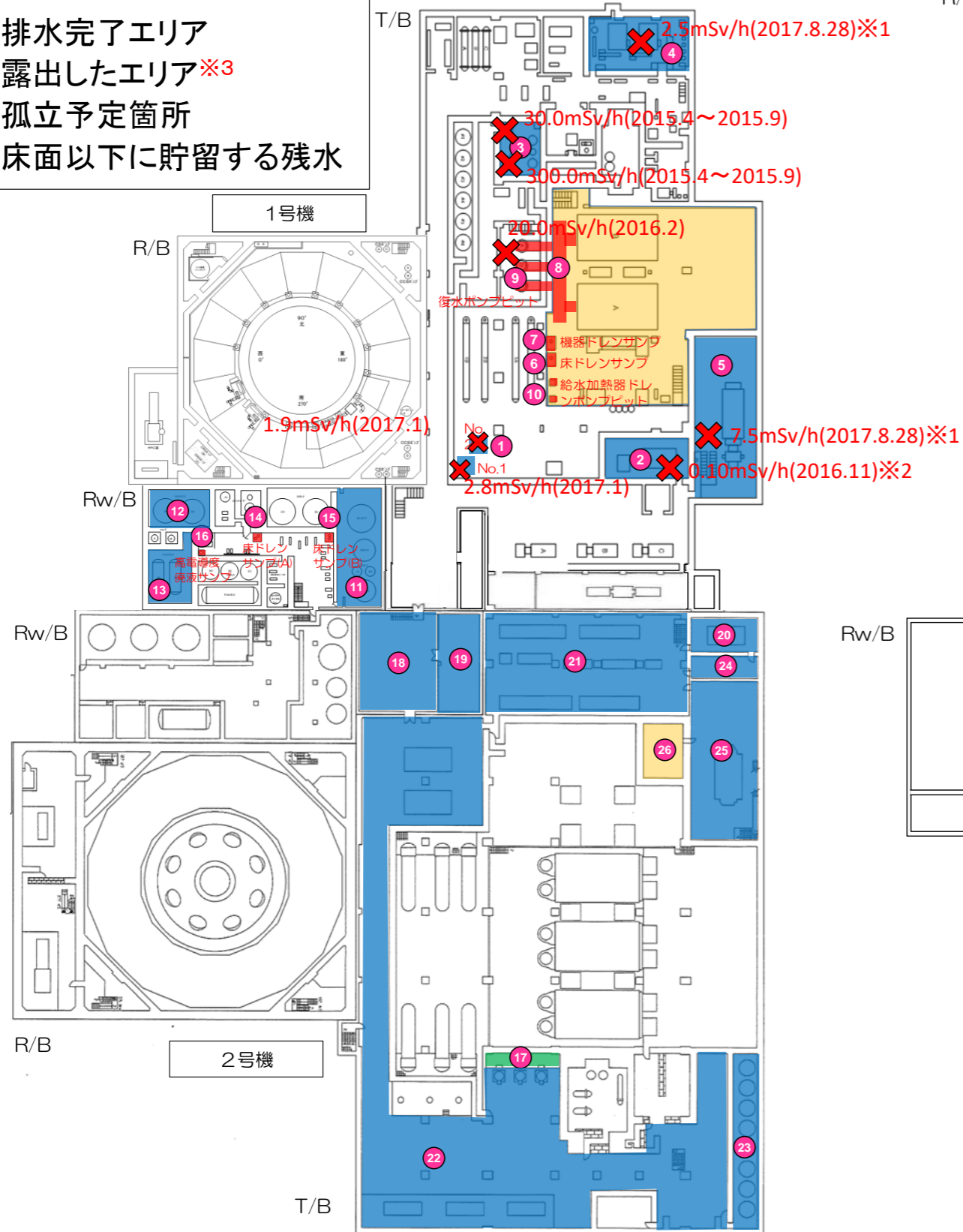
水位安定エリア等については線量測定が実施出来た場合、測定結果を記載している。

※1: 1階床面より3m程度挿入した箇所にて測定

※2: 作業エリアである1階床面で測定

※3: 孤立すると予想したエリアだが連通が確認されたため、建屋に滞留する滞留水のままと判断したエリア

- : 排水完了エリア
- : 露出したエリア※3
- : 孤立予定箇所
- : 床面以下に滞留する残水



## 福島第一原子力発電所における固体廃棄物について

東京電力ホールディングス株式会社  
2022年11月4日

実施計画 記載箇所	大分類	小分類	保管場所	保管形態	保管量 <sup>※1, 11, 12</sup>	保管容量 <sup>※1, 12</sup>	管理方法		主要 核種
							実施内容 <sup>※9</sup>	頻度	
Ⅲ 第1編 39条 第2編 87条の2	瓦礫類	・地震、津波、水素爆発により飛散した瓦礫 ・フォールアウトにより汚染した設備・資機材で廃棄する物（建屋、制御盤、廃車両等） ・設備の点検・工事により発生する交換品等（ポンプ、バルブ、配管、フランジタンク等） ・設備運転に伴い発生する消耗品等（空調フィルタ等） ・工事等のため構内に持ち込んだ消耗品（梱包材、型枠、セメント用空袋等） ・回収した土壌	屋外	・屋外集積（～0.1mSv/h）	237,500 m <sup>3</sup> [ -500 m <sup>3</sup> ]	266,300 m <sup>3</sup> ( 299,000 m <sup>3</sup> )	・人が容易に立ち入れないよう区画	—	Cs-137 Cs-134 等 <sup>※7</sup>
				・シート養生（～1mSv/h）	47,700 m <sup>3</sup> [ 0 m <sup>3</sup> ]	50,700 m <sup>3</sup> ( 77,400 m <sup>3</sup> )	・巡視を行い、容器の転倒、落下や養生シートに破れがないこと、その他異常が無いことを確認	週1回	
				・覆土式一時保管施設、容器収納（1mSv/h～30mSv/h）	16,600 m <sup>3</sup> [ -100 m <sup>3</sup> ]	17,900 m <sup>3</sup> ( 18,500 m <sup>3</sup> )	・空間線量率を測定し表示	週1回	
			固体廃棄物貯蔵庫	・容器収納	28,200 m <sup>3</sup> [ +300 m <sup>3</sup> ]	39,600 m <sup>3</sup> ( 64,700 m <sup>3</sup> )	・空気中の放射性物質濃度を測定	6ヶ月に1回 <sup>※2</sup>	
				瓦礫類の合計		330,100 m <sup>3</sup> [ -400 m <sup>3</sup> ]	374,400 m <sup>3</sup> ( 459,500 m <sup>3</sup> )	・槽内の溜まり水の有無を確認（覆土式一時保管施設）	
	使用済保護衣等	・タイバック ・下着類 ・ゴム手袋 ・その他保護衣、保護具	屋外	・容器収納	24,700 m <sup>3</sup> [ -3,000 m <sup>3</sup> ]	52,500 m <sup>3</sup> ( 58,700 m <sup>3</sup> )	・煙、水蒸気、濁り水（黒・茶色）、空気の揺らぎが発生していないこと（屋外集積の伐採木）	週1回 <sup>※3</sup>	
			建屋	・袋詰め					
	伐採木	・枝葉根	屋外	・伐採木一時保管槽	37,300 m <sup>3</sup> [ 0 m <sup>3</sup> ]	41,600 m <sup>3</sup>	・伐採木一時保管槽における温度監視	週1回 <sup>※3</sup>	
				・屋外集積	2,100 m <sup>3</sup> [ 微増 m <sup>3</sup> ]	6,000 m <sup>3</sup>	・保管量を確認し、保管容量が確保されていることを確認	月1回	
		・幹根	90,100 m <sup>3</sup> [ 微増 m <sup>3</sup> ]	128,000 m <sup>3</sup>					
		—		伐採木の合計		129,500 m <sup>3</sup> [ 微増 m <sup>3</sup> ]	175,600 m <sup>3</sup> ( 175,600 m <sup>3</sup> )	—	
	Ⅲ 第1編 40条 第2編 87条の3	水処理二次廃棄物（水処理により放射性物質を濃縮した廃棄物）	凝集沈殿物	廃スラッジ貯蔵施設	・造粒固化体貯槽【除染装置】	499 m <sup>3</sup> [ +7 m <sup>3</sup> ]	700 m <sup>3</sup>	・免震重要棟にて液位を監視し、漏えいの有無を監視	
使用済セシウム吸着塔一時保管施設				・HIC【多核種除去設備、増設多核種除去設備】（最大約13mSv/h）	4,057 本 [ +15 本 ]	4,192 本	・人が容易に立ち入れないよう区画	—	
			・HIC【多核種除去設備、増設多核種除去設備】（最大約23mSv/h）			・空間線量率を測定し表示	—		
			・吸着塔【第二セシウム吸着装置、第三セシウム吸着装置、高性能多核種除去設備、RO濃縮水処理設備、サブドレン他浄化装置】（最大約1.2mSv/h）	396 本 [ 0 本 ]	584 本	・巡視を行い、コンクリート製ボックスカルバート等に異常が無いことを確認	—		
			・処理カラム【多核種除去設備】（最大約0.2mSv/h）			・貯蔵量を確認し、貯蔵可能容量が確保されていることを確認	週1回		
			・吸着塔【セシウム吸着装置、モバイル式処理装置、モバイル型Sr除去装置、第二モバイル型Sr除去装置、サブドレン他浄化装置、高性能多核種除去設備検証試験装置】（最大約250mSv/h）	979 本 [ 0 本 ]	1,532 本				
フィルタ			・容器収納【モバイル型Sr除去装置】（最大約0.5mSv/h）	瓦礫類に含む		瓦礫類と同様	—		
			・容器収納【高性能多核種除去設備、RO濃縮水処理設備】（最大約0.5mSv/h）						
			・容器収納【サブドレン他浄化装置】						
・RO装置のフィルタ類			屋外	・容器収納【SFP塩分除去装置】（最大十数mSv/h）	瓦礫類に含む	瓦礫類と同様	—		
樹脂	固体廃棄物貯蔵庫	・容器収納【SFP塩分除去装置】（最大十数mSv/h）	瓦礫類に含む	瓦礫類と同様	—				
		・容器収納【雨水処理設備等】（最大2mSv/h）							

福島第一原子力発電所における固体廃棄物について

実施計画 記載箇所	大分類	小分類	保管場所	保管形態	保管量 <sup>※1, 11, 12</sup>	保管容量 <sup>※1, 11, 12</sup>	管理方法		主要 核種	
							実施内容 <sup>※9</sup>	頻度		
Ⅲ 第1編 38条 第2編 87条	放射性固 体廃棄物 等	・震災前に発生した放射性固体廃棄物	固体廃棄 物貯蔵庫	・ドラム缶収納	ドラム缶 175,661 本	ドラム缶 (約318,500 本相当)	・巡視による保管状況の確認及び保管量 の確認	月1回	Co-60 等	
				・その他	ドラム缶 10,155 本					
		・震災後に発生した放射性固体廃棄物 (焼却灰等)	・ドラム缶収納、ボックスコンテナ収納	3,203 本 [ +88 本 ]						
		・使用済制御棒等	サイトバ ンカ	・水中保管	12,125 本 193 m <sup>3</sup> <sup>※4</sup>	—		・事故前の保管量の推定値により確認		3ヶ月に1 回
		・イオン交換樹脂、造粒固化体	タンク等	・タンク等に貯蔵	3,546 m <sup>3</sup> <sup>※5</sup>	—		・貯蔵量の確認 <sup>※8</sup>		3ヶ月に1 回
・使用済制御棒等	使用済燃 料プール	・水中貯蔵	11,422 本 <sup>※6</sup>	—	・使用済燃料共用プールの巡視	月1回				
— <sup>※10</sup>	瓦礫等	・回収した瓦礫等	屋外	・屋外集積、シート養生、容器収納、雨水等侵入防止養生	—	63,900 m <sup>3</sup> [ 微増 m <sup>3</sup> ]	・人が容易に立ち入れないよう区画 ・空間線量率を測定し表示	—	Cs-134 Cs-137 等	
			建屋	・屋内集積、シート養生、容器収納、雨水等侵入防止養生	—	800 m <sup>3</sup> [ 0 m <sup>3</sup> ]				
	水処理二 次廃棄物	・樹脂、ゼオライト、RO膜等	-	・容器収納、容器収納の上 シート養生	—	100 m <sup>3</sup> [ 0 m <sup>3</sup> ]			Cs-137 Cs-134 Sr-90等	
仮設集積の合計					—	64,900 m <sup>3</sup> [ 微増 m <sup>3</sup> ]				

- ※1 瓦礫類、使用済保護衣等、伐採木、仮設集積物、震災後に発生した放射性固体廃棄物（焼却灰等）は2022年9月30日現在、水処理二次廃棄物は2022年10月6日現在の保管量及び保管容量である。尚、瓦礫類、使用済保護衣等及び伐採木の下段に（ ）で記載している保管容量は、実施計画（2022年7月22日認可）に記載している保管容量である。
- ※2 屋外集積及びシート養生の瓦礫類、使用済保護衣等、並びに屋外集積の伐採木は、3ヶ月に1回。
- ※3 6月～9月は、1週間に3回。
- ※4 2022年3月末時点の保管量。内訳は、制御棒：1,167本、チャンネルボックス：9,818本、ヒューエルサポート：3本、中性子検出器：1,137本、その他（シュラウド切断片等）：193m<sup>3</sup>。
- ※5 2022年3月末時点の保管量。内訳は、イオン交換樹脂：2,398m<sup>3</sup>、造粒固化体：1,148m<sup>3</sup>。
- ※6 2022年3月末時点の保管量。内訳は、制御棒：281本、チャンネルボックス：10,539本、ポイズンカーテン：173本、ヒューエルサポート：54本、中性子検出器：375本。
- ※7 廃棄物の処理・処分に必要となる、廃棄物の性状把握のため、汚染水、瓦礫類、伐採木及び立木について、放射能濃度分析を実施しており、今後も継続する。分析した試料の中には、C-14（半減期：約5.7×10<sup>3</sup>年）、Ni-63（半減期：約1.0×10<sup>2</sup>年）、Se-79（半減期：約1.1×10<sup>6</sup>年）、Tc-99（半減期：約2.1×10<sup>5</sup>年）、I-129（半減期：約1.6×10<sup>7</sup>年）等が検出されているものがある。
- ※8 1～4号機廃棄物処理建屋等の水没や高線量の理由によりアクセスできないタンクについてはこの限りではない。
- ※9 アンダーラインの実施内容は、実施計画（2022年7月22日認可）に未記載。
- ※10 仮設集積しているのは、瓦礫類、伐採木、水処理二次廃棄物等であり、QJ-54・1F-R5-002 瓦礫等管理要領に基づき、ロープや柵等の区画を行い、立ち入りを制限する標識を掲示する措置を講じている。
- ※11 [ ]は、当該の報告とその前月との差を示している。
- ※12 一部の値について端数処理で100m<sup>3</sup>未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。また、50m<sup>3</sup>未満の増減を微増・微減と示している。

ガレキの保管量の現状<sup>※1, 2, 3</sup>

保管形態	受入目安表面線量率 (mSv/h)	エリア 名称	保管容量	保管量	前回比	保管容量合計	保管量合計	2022年度末 想定保管量 <sup>※4</sup>
屋外集積 (~0.1mSv/h)	≦0.001	AA	36,400 m <sup>3</sup>	21,700 m <sup>3</sup>	+100 m <sup>3</sup>	266,300 m <sup>3</sup>	237,500 m <sup>3</sup>	271,900 m <sup>3</sup>
	≦0.005	A2	9,500 m <sup>3</sup>	- m <sup>3</sup> <sup>※5</sup>	- m <sup>3</sup> <sup>※5</sup>			
		J	6,300 m <sup>3</sup>	6,200 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>			
	≦0.01	A1	4,300 m <sup>3</sup>	2,200 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>			
		B	5,300 m <sup>3</sup>	5,300 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>			
		C	31,000 m <sup>3</sup>	31,000 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>			
	≦0.025	C	35,000 m <sup>3</sup>	34,400 m <sup>3</sup>	微減 m <sup>3</sup>			
	≦0.028	U	800 m <sup>3</sup>	700 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>			
	≦0.1	C	1,000 m <sup>3</sup>	1,000 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>			
		F2	6,400 m <sup>3</sup>	6,400 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>			
		N	9,700 m <sup>3</sup>	9,600 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>			
		O	44,100 m <sup>3</sup>	44,000 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>			
		P1	62,700 m <sup>3</sup>	61,600 m <sup>3</sup>	-700 m <sup>3</sup>			
		V	6,000 m <sup>3</sup>	6,000 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>			
d		1,200 m <sup>3</sup>	1,200 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>				
e	6,700 m <sup>3</sup>	6,200 m <sup>3</sup>	+200 m <sup>3</sup>					
シート養生 (~1mSv/h)	≦0.3	D	2,700 m <sup>3</sup>	2,600 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	50,700 m <sup>3</sup>	47,700 m <sup>3</sup>	77,100 m <sup>3</sup>
	≦1	E1	15,400 m <sup>3</sup>	14,700 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>			
		P2	6,700 m <sup>3</sup>	5,800 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>			
		W1	11,600 m <sup>3</sup>	10,500 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>			
		W2	0 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>			
		X	7,900 m <sup>3</sup>	7,700 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>			
		m	3,100 m <sup>3</sup>	3,000 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>			
		n	3,300 m <sup>3</sup>	3,300 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>			
覆土式一時保管施設、容器収納 (1mSv/h~30mSv/h)	≦10	F1	700 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	-100 m <sup>3</sup>	17,900 m <sup>3</sup>	16,600 m <sup>3</sup>	33,600 m <sup>3</sup>
		E2	1,200 m <sup>3</sup>	600 m <sup>3</sup>	微増 m <sup>3</sup>			
	≦30	L	16,000 m <sup>3</sup>	16,000 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>			

仮設集積の管理状況<sup>※1, 2</sup>

分類	場所	保管容量	保管量	前回比
仮設集積 <sup>※6</sup>	①	3,000 m <sup>3</sup>	300 m <sup>3</sup>	-2,400 m <sup>3</sup>
	②	3,000 m <sup>3</sup>	3,000 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>
	③	2,000 m <sup>3</sup>	2,000 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>
	④	7,700 m <sup>3</sup>	5,400 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>
	⑤	14,000 m <sup>3</sup>	13,000 m <sup>3</sup>	+700 m <sup>3</sup>
	⑥			
	⑦			
	⑧	4,500 m <sup>3</sup>	3,500 m <sup>3</sup>	微減 m <sup>3</sup>
	⑨			
	⑩			
	⑪			
	⑫			
	⑬			
	⑭	2,200 m <sup>3</sup>	2,200 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>
	⑮	2,000 m <sup>3</sup>	2,000 m <sup>3</sup>	+100 m <sup>3</sup>
	⑯	3,600 m <sup>3</sup>	2,600 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>
	⑰			
	⑱	20,700 m <sup>3</sup>	18,900 m <sup>3</sup>	+3,700 m <sup>3</sup>

- ※1 瓦礫類、仮設集積物は2022年9月30日現在の保管量及び保管容量である。保管容量は運用上の上限を示している。  
 ※2 一部の値について端数処理で100m<sup>3</sup>未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。また、50m<sup>3</sup>未満の増減を微増・微減と示している。  
 ※3 各受入目安線量率において、固体廃棄物貯蔵庫の保管量は除いて記載。  
 ※4 瓦礫類の想定保管量は、実施計画（2022年7月22日認可）の予測値を示している。  
 ※5 エリアA2は低線量エリアとした（2020年1月6日認可）が、移行期間のため「-」と記載。  
 ※6 保管容量が1,000m<sup>3</sup>以上の仮設集積場所について記載。

